

第2回中野区消防団運営委員会 書面審議結果

- 1 開催日
令和3年1月14日(木)
- 2 参加者
 - (1) 委員長
酒井直人(中野区長)
 - (2) 委員
西沢けいた(都議会議員)、高倉良生(都議会議員)
荒木ちはる(都議会議員)、河原井守(中野防火防災協会会長)
大野道高(野方防火防災協会会長)、内川和久(区議会議員)
若林しげお(区議会議員)、酒井たくや(区議会議員)
木村広一(区議会議員)、白井ひでふみ(区議会議員)
浦野さとみ(区議会議員)、上原源隆(中野消防署長)
山口圭二(野方消防署長)、本多正(中野消防団長)
大野壽一(野方消防団長)
 - (3) 事務局
中野区 総務部 危機管理課 防災担当課長
野方消防署 警防課長
- 3 送付資料
 - (1) 次第、名簿
 - (2) 答申(案)概要について
 - (3) 答申(案)について
 - (4) 回答様式
 - (5) 第1回答弁内容の訂正
 - (6) 第1回議事録
- 4 審議事項
 - (1) 答申(案)概要について
 - (2) 答申(案)について
- 5 審議内容

第1 災害状況等に応じた、招集及び任務班の編成時期

【内川和久委員】

待機が長い状況の改善には、今後さらなる検証が必要

【事務局】

今後示される答申を踏まえて改善が期待されますが、その後の状況について検証は必要であると考えます。

【大野道高委員】

良いと思います。分団長の冷静な対応が重要になると思います。

【事務局】

大規模な水災発生時は、団本部からも適時支援をしていきたいと考えます。

【若林しげお委員】

編成時期はいいと思います。任務班を編成する際、団員同士でわかるよう、腕章などがあると活動しやすいかもしれません。

【事務局】

具体的に何の任務なのか表示することも必要であると思います。今後、制度運用時の具体的な内容も検討が必要であると考えます。

第2 水災活動時の教育訓練及び安全管理

【内川和久委員】

効果、効率的な教育・eラーニングの活用を求めます。

【事務局】

今後もeラーニングを活用した教育を推進して行くとともに、より効果的な活用方策を検討したいと考えます。

【大野道高委員】

指揮者の向上についても、また、実践的な訓練も時をあけて（年2回位）行ってほしいと思います。

【事務局】

指揮者及び一般団員の積極的な訓練を推進したいと考えます。

【本多正委員】

団員の活動能力向上は、是非必要であると考えます。団単位、分団単位の訓練を行う事が必要と考えます。

【事務局】

消防団の活動能力向上として、大規模な訓練の他、署水防訓練及びeラーニングを活用した自己学習等を推進していますが、今後、分団単位の訓練も検討したいと考えます。

第3 河川越水等による浸水時の機能移転計画

【内川和久委員】

資機材の移動は、人員の確保が必要。しっかりとした計画を作ることが大事

【事務局】

気象庁等の事前情報で浸水による施設の被害等が予想される場合は、事前に人員等が確保できる時期に機能移転対策を図ることが必要であると考えます。今後、答申を踏まえた具体的な計画について検討していく予定です。

【高倉良生委員】

浸水時の機能移転は重要な取り組みであり、それを想定して運搬手段、経路の明確化や訓練等も必要になるのではないかと思います。万全を期すべきと思います。

【事務局】

円滑な機能移転を実施するためには、今後示される答申を踏まえた具体的な計画策定と、計画に基づいた訓練が必要であると考えており、今後、これらについても検討していく予定です。

【若林しげお委員】

河川に近い分団は必要であり、中野第7分団においては、発電機能が1階にあるため使用できなくなる可能性が高いと思われます。事前に計画、対策を考えなければなりません。

【事務局】

機能移転時に移動させる資機材等について事前に選別するなど、今後、具体的な計画について検討していく予定です。

第4 広範囲の浸水による長時間活動などに伴う応援体制等

意見なし

第5 情報収集体制の強化

【内川和久委員】

インターネット環境の整備は、まっ先にするべき。

【事務局】

今回の答申により、早急な整備を期待しています。

【高倉良生委員】

ネット環境は、電源があっこそ機能するものです。団施設の電源に問題が生じた時を想定して小型バッテリーなど非常用電源のあり方なども検討しておく必要があるかと思えます。

【事務局】

長時間停電した状況下でも消防団活動を支障なく実施するため、各分団本部に非常用発電機が配置されています。(出力：5.5kVA・連続運転時間：5.1時間)

第6 住民等からの避難所支援の要請対応

【大野道高委員】

特に高齢者の一人暮らしの方を見逃さないように注意が必要と思えます。

【事務局】

中野区と連携し、要配慮者への対応をしていきたいと考えます。

第7 予想を超える水災に対する装備資機材の増強

【内川和久委員】

河川に近い分団には、救命ボートの導入が必要と思われるが、団小屋のスペース的な問題がある。

【事務局】

今回の答申により、救命ボートを含めた水災活動に効果的な資機材の導入が進むことを期待します。今後、各分団本部等の資機材を置くスペースの確保について検討が必要であります。

【大野道高委員】

良いと思えますが、資機材・装備品については、日々開発が進められていると思えますので、良い物は予算に応じて導入した方が良いと思えます。

【事務局】

装備資機材の導入は、消防団の意見も踏まえ、より実践的な装備資機材の導入を検討したいと考えます。

【本多正委員】

新たな装備資機材の導入は、是非進めて頂きたいと思いますが、分団本部施設のスペース確保を考えると、分団によっては、負担が多くなる分団本部施設もあると思います。中野区と共同で使用できる資材庫の設置は考えられないでしょうか？（土のうなどの保管場所として使用できると思います。）

【事務局】

今後、各分団本部等の資機材を置くスペースの確保について検討が必要であります。また、中野区とも調整し、資機材庫の確保について検討したいと考えます。

【浦野さとみ委員】

2（2）、「消防団からの意見を踏まえて」というのはとても大事だと思います。

【事務局】

消防団からの意見を踏まえ、実践的な資機材配備を進めたいと考えます。

第8 分団本部施設のスペース等の確保及び機能向上

【内川和久委員】

年々、資機材が増える中、必要な物、そうでない物をリストアップし、団小屋のスペース確保と精査が必要と考える。

【事務局】

今後、資機材の増強が図られる場合、分団本部等の収納スペースの確保について検討していく必要があります。

【大野道高委員】

女性団員からの意見をしっかり取り入れて機能向上を図って欲しいとおもいます。

【事務局】

女性用プライベートスペースの確保は、これからの施設計画で必要となってきます。より現実的な施設整備を検討していきたいと考えます。

【浦野さとみ委員】

女性用のスペースの確保、とても大事だと思います。ぜひ、ジェンダー平等の視点で、実際の整備の際には、利用する側の意見もヒヤリングしていただきながら進めてくださることを要望致します。

【事務局】

女性用スペースの確保は、重要な課題であると認識しています。実際に利用する側の意見を踏まえて整備したいと考えます。

その他

【大野道高委員】

安全第一に活動してください。

【事務局】

安全は、全てに優先し実行するべきと考えます。

6 今後の予定

第3回中野区消防団運営委員会は、5月中旬に開催予定